鋼桁/鋼床版素地調整機

従来のディスクサンダー工法に比べて能率が4~5倍にアップ。大幅なコスト低減が可能です。機械は強力な マグネットローラで鋼桁や鋼床版に保持されるため、作業者を過酷労働から解放します。また粉塵は吸引回収 されるため、作業環境が大幅に向上します(受注生産)。

現状の鋼桁/鋼床版素地調整における問題点

- ①ディスクサンダー等の電動工具のため、 大面積の処理に適さない。
- ②上向き作業のため、手首の疲労や研削 塗料粉にまみれる典型的な苦渋作業であ
- ③従って能率が上がらず、施工コストが高 い(塗装コストの数倍)。
- ④施工品質に個人差バラツキがある。







(現状のケレンエ具)

製品の特徴

(1)施工能率が高い 4種ケレンを2m²/minの能率で施工できます(下写真のケース)。

(2)苦渋作業から解放 機械は桁部材に吸着し、研掃トルクにより自走します。

機械は約5kgの軽量、研掃作業時は手で軽く支えるだけ。

研掃粉塵は吸引回収されるので清潔作業。

(3)均一な品質 誰が作業してもムラのない均質なケレンができます。

作業状況









経済性

			従来ディスク	鋼床版素地調整機		備考
			サンダー工法	Case 1	Case 2	
処理面積		m2	500			橋梁1パネルに相当
能率		m2/日	80	300	400	
工事直接費		円	96,563	31,458	23,594	人件費+償却費+消耗品
コスト低減	金額	円		-65,104	-72,969	
	率	%		67.4	75.6	

RDI (株)技術開発研究所

URL http://rdi-japan.com Mail info@rdi-japan.com

新潟事務所/研究所: 〒950-1132 新潟市江南区丸潟新田504-3

FAX 025-280-2930 TEL 025-280-3411

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11 鈴野ビル6F 東京事務所:

TEL 03-6206-8660